



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月10日
上場取引所 東

上場会社名 北陸電気工業株式会社
 コード番号 6989 URL <http://www.hdk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津田信治
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務部長 (氏名) 林 良徳 TEL 076-467-1111
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|------|-------|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 8,545 | △27.0 | △68 | — | △427 | — | △508 | — |
| 28年3月期第1四半期 | 11,702 | 12.8 | 143 | 404.9 | 287 | — | 251 | — |

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △1,292百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 389百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第1四半期 | △6.06 | — |
| 28年3月期第1四半期 | 3.00 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 29年3月期第1四半期 | 33,610 | 10,684 | 31.8 | 127.47 |
| 28年3月期 | 35,806 | 12,312 | 34.4 | 146.89 |

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 10,684百万円 28年3月期 12,312百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | 4.00 | 4.00 |
| 29年3月期 | — | — | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 4.00 | 4.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|------|------|------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 38,000 | △7.1 | 800 | △9.4 | 600 | △4.0 | 400 | 118.8 | 4.77 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年3月期1Q | 92,500,996株 | 28年3月期 | 92,500,996株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年3月期1Q | 8,682,790株 | 28年3月期 | 8,680,333株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 29年3月期1Q | 83,819,053株 | 28年3月期1Q | 83,854,081株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国は個人消費を中心に底堅く推移しましたが、中国の減速基調が続いたことや、英国のEU離脱問題などから、先行きの不透明感が高まりました。

わが国におきましても、個人消費が停滞するなかで円高が進行し、減速感が強まりました。

そのような環境下、エレクトロニクス市場におきましては、自動車関連は電装化の進展を背景に引き続き拡大しましたが、携帯情報通信端末の伸びが鈍化したことから、電子部品需要は総じて弱含みの状況で推移しました。

こうした状況のなかで、当社グループにおきましては、自動車関連向けを主体に拡販を図る一方、引続き生産効率の改善に努めました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、モジュール製品の受注減と円高の影響から、売上高8,545百万円（前年同期比△27.0%）、営業損失68百万円（前年同期は営業利益143百万円）となりました。

また、6月の円高進行に伴い、為替差損382百万円を営業外費用に計上したことから、経常損失427百万円（前年同期は経常利益287百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失508百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益251百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①電子部品

電子部品は、チップ抵抗器や圧電部品が自動車関連向けを主体に増加したものの、モジュール製品の受注が、TV及び携帯情報通信端末向けにおいて振るわず、円高の影響も受けたことから、売上高8,307百万円（前年同期比△27.4%、営業利益167百万円（前年同期比△57.3%）となりました。

②金型・機械設備

金型・機械設備は、金型受注がアミューズメント向けにおいて停滞したものの、機械設備の売上が堅調であったことから、売上高226百万円（前年同期比+18.5%）、営業利益11百万円（前年同期比+80.4%）となりました。

③その他

その他は、商品仕入及び不動産業等にかかる事業であり、売上高は117百万円（前年同期比+0.2%）となり、営業利益は26百万円（前年同期比+22.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、現預金、たな卸資産等が減少したことから、2,196百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ、仕入債務及び有利子負債の減少を主因に、568百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、1,628百万円の減少となりました。

株主資本は、親会社株主に帰属する四半期純損失により508百万円減少し、配当金の支払いにより335百万円減少したことから、843百万円の減少となりました。

その他の包括利益累計額は、その他有価証券評価差額金が株安に伴い105百万円減少したことと、為替換算調整勘定が円高に伴い688百万円減少したことを主因に、784百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、平成28年5月10日の公表から変更ありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。また、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。
- (4) 追加情報
(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,047 | 6,233 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,015 | 7,373 |
| 商品及び製品 | 1,184 | 1,133 |
| 仕掛品 | 2,201 | 2,398 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,131 | 1,581 |
| 繰延税金資産 | 406 | 386 |
| その他 | 1,769 | 924 |
| 貸倒引当金 | △0 | △15 |
| 流動資産合計 | 21,754 | 20,015 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 3,045 | 2,928 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 3,938 | 3,660 |
| 土地 | 2,877 | 2,872 |
| その他（純額） | 459 | 545 |
| 有形固定資産合計 | 10,320 | 10,007 |
| 無形固定資産 | | |
| | 291 | 261 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,403 | 1,291 |
| 繰延税金資産 | 1,228 | 1,212 |
| 退職給付に係る資産 | 0 | — |
| その他 | 863 | 874 |
| 貸倒引当金 | △55 | △52 |
| 投資その他の資産合計 | 3,439 | 3,325 |
| 固定資産合計 | 14,052 | 13,594 |
| 資産合計 | 35,806 | 33,610 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,673 | 6,551 |
| 短期借入金 | 4,181 | 4,334 |
| 未払法人税等 | 116 | 86 |
| 賞与引当金 | 321 | 487 |
| その他 | 1,190 | 1,112 |
| 流動負債合計 | 12,483 | 12,573 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,285 | 4,740 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 327 | 327 |
| 退職給付に係る負債 | 4,931 | 4,918 |
| その他 | 467 | 366 |
| 固定負債合計 | 11,010 | 10,352 |
| 負債合計 | 23,494 | 22,925 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,200 | 5,200 |
| 資本剰余金 | 5,039 | 5,039 |
| 利益剰余金 | 2,056 | 1,212 |
| 自己株式 | △1,143 | △1,144 |
| 株主資本合計 | 11,151 | 10,307 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 98 | △7 |
| 土地再評価差額金 | 684 | 684 |
| 為替換算調整勘定 | 782 | 93 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △404 | △394 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,161 | 376 |
| 非支配株主持分 | — | — |
| 純資産合計 | 12,312 | 10,684 |
| 負債純資産合計 | 35,806 | 33,610 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 11,702 | 8,545 |
| 売上原価 | 10,220 | 7,318 |
| 売上総利益 | 1,482 | 1,226 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,338 | 1,294 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 143 | △68 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 17 | 16 |
| 受取配当金 | 15 | 16 |
| 為替差益 | 132 | — |
| 受取保険金 | — | 26 |
| その他 | 23 | 30 |
| 営業外収益合計 | 189 | 90 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 22 | 19 |
| 為替差損 | — | 382 |
| その他 | 21 | 46 |
| 営業外費用合計 | 44 | 449 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 287 | △427 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 6 |
| 補助金収入 | 9 | 8 |
| その他 | 5 | 6 |
| 特別利益合計 | 15 | 21 |
| 特別損失 | | |
| 災害による損失 | — | 8 |
| 減損損失 | — | 3 |
| 固定資産売却損 | 0 | — |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 割増退職金 | 1 | — |
| 海外子会社税務関連損失 | 11 | — |
| その他 | — | 0 |
| 特別損失合計 | 14 | 12 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 288 | △417 |
| 法人税等 | 37 | 90 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 251 | △508 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △0 | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 251 | △508 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 251 | △508 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 95 | △105 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | — |
| 退職給付に係る調整額 | 4 | 9 |
| 為替換算調整勘定 | 37 | △688 |
| その他の包括利益合計 | 138 | △784 |
| 四半期包括利益 | 389 | △1,292 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 389 | △1,292 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 0 | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|---------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 電子部品 | 金型・ 機械設備 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,446 | 170 | 11,617 | 85 | 11,702 | — | 11,702 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 20 | 20 | 31 | 52 | △52 | — |
| 計 | 11,446 | 191 | 11,638 | 117 | 11,755 | △52 | 11,702 |
| セグメント利益 | 392 | 6 | 398 | 21 | 419 | △276 | 143 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入(株式会社大泉製作所製品)及び不動産・保険代理業に係る事業であります。

2. セグメント利益の調整額△276百万円には、セグメント間取引消去18百万円、のれんの償却額△2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△292百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|---------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------------------------------|
| | 電子部品 | 金型・ 機械設備 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,307 | 152 | 8,460 | 85 | 8,545 | — | 8,545 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 73 | 73 | 32 | 105 | △105 | — |
| 計 | 8,307 | 226 | 8,533 | 117 | 8,651 | △105 | 8,545 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 167 | 11 | 178 | 26 | 205 | △273 | △68 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入(株式会社大泉製作所製品)及び不動産・保険代理業に係る事業であります。

2. セグメント利益の調整額△273百万円には、セグメント間取引消去8百万円、のれんの償却額△2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△279百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。